公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第 42 号　発行:令和元年 6 月 28 日

令和元年度第 4 回（R 元.6.18）理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。

第 2 回の理事会は、理事 9 名中 9 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。

第 4 回の議事は、報告 5 件（事業実績/業務報告/監査結果報告書/監査の実施/令和元年度センター事務局事務分担表)、議案 1 件（正会員の承認)、協議 2 件（委員会委員/B 級野菜市)、その他（財政見込）でした。

事業実績等について

5 月の受注実績(請負･委任･派遣の合計額)は、4,003 万 4 千円でした。前年は 3,689 万 4 千円で、前年比 108.5%となりました。このうち派遣業務の実績は 957 万円となり、前年（736 万 4 千円）に比べ増加となりました。平成 30 年度の派遣実績は、中国 5 県、71 センターの中で第 4 位となっております。

会員数は、5 月末日現在では、935 名(男 631 名、女 304 名)となり、前月より 6 名の増でした。

定例監査結果報告書について

平成 31 年 4 月 17 日に定例監査(平成 30 年度 1 月～3 月分対象)が実施され、監事から人件費に関する財務分析について説明があり、中でも補助金に対する人件費率が県内の他センターと比較し、非常に高くなっているとの報告がありました。

監査の実施について

監事から令和元年度の定例監査の実施について通知がありました。本年度も昨年度と同じく、四半期ごとの定例監査 4 回と最終監査の計 5 回実施されます。

令和元年度センター事務局事務分担表

本年 6 月から理事長と常務理事の 2 名は常勤役員として業務にあたります。なお、常務理事は事務局長を兼務することになりました。また、派遣事業が急速に伸びており、その体制強化も必要であることから、正規職員 1 名（兼務）と嘱託職員 3 名で対応することとしました。そして除草業務における見積調査のための臨時職員を 2 名配置し、併せて各地域担当職員も現地調査及び見積書の作成を行います。業務補助及び見積調査の臨時職員については、経費縮減のため、閑散期である冬季は雇用しないこととしております。

委員会については、適正就業委員会、安全就業委員会、中期事業基本計画推進委員会について担当を置き、その他の委員会は、必要に応じて開催するため、担当は置きません。また、6 月から厚生労働省の委託事業である生涯現役促進地域連携事業実施のため、当該協議会の事務局職員 3 名がシルバー人材センター2 階に常駐することになりました。

正会員の承認について

4 月 26 日から 6 月 14 日までに受付けた 18 名(男 10 名、女 8 名)の入会が承認されました。

委員会委員について

常設の委員会のうち、特に検討を要する事案等が多い安全就業委員会と適正就業委員会の理事委員が次のとおり決まりました、

1. 安全就業委員会
   原重利理事、高野郁夫理事
2. 適正就業委員会
   高橋充男副理事長、日野光男理事

B 級野菜市について

本年度も B 級野菜市を毎週水曜日の 9 時 30 分から 11 時 30 分までの時間で実施します。役員が交代で販売を担当します。出品者が限られていますので、会員の皆さんの出品をお待ちしています。

財政見込について

本年度も厳しい財政状況が続きますが、事務比率の引き上げ、人件費をはじめとする経費の縮減に努めるとともに、昨年度大きく減少した除草業務の持ち直しや派遣事業の更なる増収を図り、収支の安定のため努力します。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

定例理事会：8 月 20 日(火)(13:30-16:30
センター会議室)